

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	機能再建系歯科診療補助演習				
担 当 者	澤田美佐緒				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.6	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>この科目は、う蝕治療に関する実際の治療内容に沿って、歯科診療の補助の知識と技術を修得するものでした。う蝕治療経験が少ない皆さんにとっては、理解が難しいこともあったかと思えます。初めて見る細かい機器が多く、名称や用途まで覚えるには時間がかかるかもしれません。ただ、臨床では毎日使用する器材なので、この科目の復習をしっかりとおこなっていただければ、臨地実習に出た時に興味を持って学習できると思います。授業中も伝えたように、器具機材を準備したり、正しく扱ったりするだけでなく、患者さんの状態をみながら声掛けをし、また歯科医師が使い易いように補助を行うことが大切です。相手の気持ちを理解して対応できる歯科衛生士を目指してください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療安全				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.4	4.3	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>医療事故と院内感染防止の基本を知り、安心安全な歯科医療を提供する重要性を理解してもらえるように授業の組み立てを工夫をしました。新聞記事や感染症対策についてのガイドラインを教材として、興味を持って学習に臨めるようにしました。本科目は、今後の学内実習や臨地実習に繋がる授業であり、歯科衛生士業務を実践するうえでは欠かすことのできない知識になりますので、しっかりと知識の定着を図るようにしてください。</p> <p>授業評価のカテゴリー I～V はほぼ学科平均という結果でした。</p> <p>次年度に向けて、さらに授業内容の整理をして、わかりやすく伝える工夫をしていきます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯科臨床検査総論				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.1	4.0	4.1	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>医療検査学科の先生がたのご協力のもと、オムニバス形式で授業をおこないました。皆さんにとっては難しい内容のものもあったかと思います。しかし、当科目で学修する内容は、歯科衛生士にとって臨床の現場では必要不可欠な知識ばかりですので、3年次の臨地実習においても当科目の内容を思い出しながら、しっかりと知識の定着を図るようにしてください。カテゴリー I～V まですべての項目において学科平均をやや下回る結果となりました。「わかりやすい内容であった」は 3.98 という低い結果でした。次年度以降、学生の皆さんが理解できるようなプリントを作成するなど改善を図ります。</p> <p>授業評価の回答数が受講者 67 名のうち 45 名 (67%) と少なかったことが残念です。回答者のうち約半数の 20 名が授業外の学習時間が 30 分以内であったと回答しています。次年度からは事後レポート作成、プレテストの導入などで授業外での学習時間を確保してもらえるような工夫をしたいと思えます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	IPW（多職種連携）論				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.1	4.1	4.1	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>本授業は、様々な医療職の先生に講義をお願いし、オムニバス形式で授業をおこないました。医療職種の中でも歯科医療の専門職である「歯科衛生士」は、多職種との連携がまだまだできていないのが臨床現場の現状です。将来、皆さんが多職種の方々と肩を並べ、その役割が発揮できる歯科衛生士になるために必要な多職種連携の基礎を学習する内容でした。皆さんにとっては難しく、理解が困難な内容のものもあったかと思います。</p> <p>カテゴリー I～V まですべての項目において学科平均を若干下回る結果でした。この授業の学習目標をしっかりと示すことが重要だと感じます。学生からの意見として、「他の職種の人からの歯科衛生士の役割について事細かに説明していた点が良かった。」「色々な職種の話を聞けるのは良かった。」など、オムニバス形式であったことで、幅広い知識の習得に繋がったことは良かった点としてあげられます。</p> <p>次年度には、多職種連携の重要性を理解してもらえるように授業内容を再考したいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科診療の補助演習				
担 当 者	川野亜希				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.6	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>本科目で習得した知識や技術は、今後皆さんが履修する演習科目や臨地実習の基盤となります。根拠を基に理解しておくことで応用できますので、学修したことを適切に活かしてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科理工学演習				
担 当 者	川野亜希				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.6	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>本科目で使用した歯科材料は、2年次以降の演習で応用します。国家試験に頻出の内容も含まれていますので、特徴や取り扱い方法はしっかり復習をして今度に備えましょう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科理工学演習				
担 当 者	氏橋貴子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.6	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>歯科理工学演習では実際に患者様に使用する材料を手に取りながら学修を進めてきました。歯科材料や器具器材の特性を深く理解することは、患者様の治療を行う際や患者様への説明を行う際に、非常に大切となります。2年生からは機能再建系歯科診療補助といったより臨床に近い実習や基礎臨床実習も始まります。今回、この歯科理工学演習で学んだ知識や技術はこれらの基礎となるものです。ぜひ、今回の演習内容をしっかりと復習して、今後の学びを積み重ねていきましょう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1, 3		
科 目 名	歯科予防処置演習 I				
担 当 者	破魔幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.5	4.5	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価のメッセージを書きくださった方、ありがとうございます。質問しやすい、理解しやすい、わかりやすいとの感想を今回は記載くださっていました。演習は座学に比べてより身近に疑問を持てたり、質問出来たり、不安な内容を確認できたりの間だと思っています。そのため、できるだけ教員と関われるよう環境を整える努力をしています。それを感じてもらえていたら嬉しいです。まだ、伝えられていない人にはもっともっと近づけるよう頑張ります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの心理学				
担 当 者	破魔幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>メッセージを記載くださった方、ありがとうございます。言葉の説明後すぐに問題をだしたことで子供の目線で考えられたというご意見でした。心理学は頭で覚えようとするとも多くのワードがあり大変ですが、意味を理解すると段々と覚えていきます。さらに楽しく思えると効果が上がるのですが、これから試験対策をする人は是非面白そうな本から取り組んでください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	全身の健康と口腔科学				
担 当 者	柳田学				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.4	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>2年生からは専門科目が多くなり大変ですが、全身の健康と口腔内の状態は強く関わっていることを考えながら勉強してください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの歯科学				
担 当 者	柳田学				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.4	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
3 年生前期に演習があります。しっかり教科書を読み直してください。					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	オーラルリハビリテーション演習				
担 当 者	江崎ひろみ・澤田美佐緒・中村美紀				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.1	4.1	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>オーラルリハビリテーション演習は、嚥下機能評価、食事介助方法、口腔機能管理ならびに口腔衛生管理の実践的知識を基盤にして、対象特性を理解した実践力が求められます。国家試験の出題範囲も多く、必ず修得しておかなければならない知識と技術になります。しかしながら3年生になってはじめて摂食嚥下リハについて専門的に深く学習されたのではないのでしょうか。覚えなければいけない知識が多くあり大変だったと思います。修得した知識と技術は実践を積み重ねることで経験値が高まり、貴女の実践力となることを期待します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科予防処置論				
担 当 者	高橋由希子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.4	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この講義の内容に沿った実習が1,2,3年と継続するため、覚えることが楽しいと思えることを探しながら、実習に望むことを希望します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの食と栄養				
担 当 者	江崎ひろみ・川野亜希・吉田幸恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.5	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は、子どもの成長各期における望ましい栄養状態の知識のみならず、幅広く食育についての知識と保護者支援、子どもを取り巻く食環境について学修していただきました。子どもの豊かな人間性を育て、生きる力を育み、発育を支え、健康な体と習慣をつくるには、多くの知識と具体的な対応策を身につけなければいけないことが分かったと思います。自身が子どものころから大切に守られ育まれたことを思い起こした学生さんも多くいました。次は、専門的知識を学んだ皆さんが、若いお母さん方へ指導する立場に成長してください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯周疾患処置演習 I				
担 当 者	高橋由希子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.5	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>この演習では歯周治療の流れを理解した上で、歯周病の治療のスクレーリングルートプレーニングを学びます。この技術はどこで勤務する時も必要な技術です。将来、歯周病の認定も視野に入れ学んでほしいと考えます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療面接				
担 当 者	江崎ひろみ・破魔幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.3	4.3	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>医療従事者と患者が対等な立場でコミュニケーションを行い良好な人間関係、信頼関係を構築するにはどうすればよいのか具体的に考えてもらいました。医療面接の基本となる患者への共感的態度を理解し、病歴聴取・情報収集、全身の健康状態の把握のための実践的技術を学修していただきました。情報収集の難しさ、多くの知識を要することが分かったと思います。アセスメントする力は、一度や二度の授業で身につけるのは難しいことです。本授業で得た基本的な知識をもって、臨床実習では患者に向き合い、自分で観る・気づく・考察する・工夫する・考えを伝える（記述する）ことに活かしてもらいたいと思います。また、今年度は患者対応のひとつである、患者の安全な移乗移送方法として車いすの操作方法を学んでいただきました。3年次の臨地実習実践に役立ててください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	オーラルヘルスマネジメント				
担 当 者	高橋由希子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.2	4.2	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>応用臨地実習と発展臨地実習の合間に行われる講義です。臨地実習で出会う様々な事例を示しながら歯科衛生過程について講義演習を行います。臨地実習で学生の皆さんが困らないよう頑張ります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	高齢者歯科学				
担 当 者	江崎ひろみ・小屋経寛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.2	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は 3 年後期前半で、発展臨地実習前の講義でした。臨床現場で患者対応される実際の様子や、写真映像を視聴することでリアリティのある学習内容であったと思います。高齢者歯科学は学習範囲が広く、高齢者の特性、生活背景、訪問歯科における患者・家族への対応、摂食嚥下リハビリテーションの実際等多くのことを学んでいただきました。国試に向けて自己学習自己研鑽を続けてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯科矯正学				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.3	4.3	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>覚えることが多い科目で、実感が湧かない点もあると思いますが、歯科診療所の実習や外部の臨地実習などを通じて理解を深めて下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	ワークキャリアプランニング				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.3	4.4	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>将来の自分がどのように働いているのか、どんな職場で働きたいのか、自分で考えるヒントになってくれればと思います。自分が書いた内容を読み返して見て下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	研究方法論				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	4.0	4.1	4.0	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>オムニバス形式で各教授から内容の濃い話を聞けたと思います。次年度の卒業研究につなげてくれればと思います。授業で使用した資料は、そのまま利用できますので、今のうちに読み返しておいてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	機能再建系歯科診療補助演習				
担 当 者	氏橋貴子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.6	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>機能再建系歯科診療補助演習は基礎臨地実習と並行して進んでいくカリキュラムでしたので、歯科材料や歯科器具器材への関心がより深まったことと思います。1年生では歯科材料の名称や性質を学び、2年生では治療の手順や患者様への配慮と段階的に学習を進めてきました。3年生ではさらに小児歯科や矯正治療など、より専門的な分野を学修します。これまでに理解が不十分だと思うところは、しっかり復習しておきましょう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	キャリアパスⅢ				
担 当 者	伴仲 謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.2	4.2	4.3	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。</p> <p>この授業は、資格取得を目指して集中講義を中心とした授業構成で進めました。みなさんにとっては通常の授業形式とは違い、難しい部分もあったかと思います。資格試験結果がうまくいった人もそうでなかった人も、歯科衛生士にプラスしたダブルライセンスが、みなさんの将来のキャリアにどのようにつながっていくのかということは今一度考えてほしいと思います。この授業での学びが、今後のみなさんのキャリア形成に少しでも役に立てば嬉しいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	キャリアパスⅣ				
担 当 者	伴仲 謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.1	4.1	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。</p> <p>この授業は、資格取得を目指して集中講義を中心とした授業構成で進めました。みなさんにとっては通常の授業形式と違うところがあり、難しい部分もあったかと思います。資格は、ただ取得するだけでなく、その資格を持ってどのように活用するかということが最も重要です。授業は終わりましたが、今回の食育の学びを歯科衛生士の学びにどのようにつなげていくかということを考えてほしいと思います。引き続きがんばってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	成育系歯科診療補助演習				
担 当 者	中村 美紀				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>【学生へのメッセージ】</p> <p>本科目は成長発達段階にある顎口腔領域の健全な育成のための支援方法を深く考察し、歯科衛生士の役割について深く理解するための科目です。1-2年次の歯科診療補助演習に比べると、より専門的な演習内容となり、学修も難しくなったかと思いますが、授業評価の総合評価は4.4であり、これは皆さんが本科目に意欲的かつ積極的に参加してくれた証だと嬉しく思います。今回、授業方法の改善すべき点などのご意見はありませんでしたが、次年度はさらに分かりやすい授業を目指し、修正します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子ども学				
担 当 者	中村 美紀				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.2	4.3	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>本科目は、保育という営みの全般について理解することを目的に、保育にかかる主たる専門分野を取り上げ、各分野における基本的な知識を学修する科目です。そのため、授業に出てくる用語（口腔保健の専門とは違った専門用語）は難しく、非常に理解が難しかったと思います。そのような中、授業評価アンケート「IV学修成果」のうち「授業内容をよく理解できた」に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えてくれた学生は半数以上でした。これは皆さんが本科目に意欲的かつ積極的に参加してくれた証であり、嬉しく思います。今回、授業方法の改善すべき点などのご意見はありませんでしたが、次年度はさらに分かりやすい授業を目指して修正します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	ライフステージ別口腔健康支援演習				
担 当 者	宮澤絢子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>口腔健康支援の対象となるライフステージへの理解を深めるため、一般的特徴と口腔内の特徴を学び、事例に対して歯科衛生過程を展開する科目でした。1年生との合同実習は、簡略化した内容でしたが、実際に学んできたスキルを活かす良い機会になったと思います。定期試験前の1000字程度のレポート課題については、ご意見があった点は改善する方向で修正を検討します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療英語 II				
担 当 者	山城 圭介				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.2	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>医療英語の授業、どうだったでしょうか？意外と外国人の患者を対応する機会は出てくると思います。いろいろな言語がありますが、まずは英語を少し理解しておく、いろいろな方と対応できるかと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	微生物学・免疫学				
担 当 者	山城 圭介				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.3	4.4	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>微生物学の授業はいかがだったでしょうか？普段聞き慣れない菌の名前や，病気の名前，免疫の機構など，難しいと感じたかもしれません。しかし，ニュースなどを見てもらうと，意外とこの分野の関連の記事が多いことに気がつくと思います。ぜひ微生物・免疫を意識しながら，日々のニュースや記事を見ていただければと思います。</p>					